

ウ 講師 福島大学教授 佐藤 利雄
同 下平尾 勲

- エ 講習内容
- 進路指導の理念
 - 進路指導と教育課程
 - 進路指導の諸活動等

オ 期日・会場等

期 日	会 場	人数	参 加 者
8月27日	平工業高校	40	進路指導主事・進路
8月28日	小高工業高校	26	指導担当者・学級担
8月31日	若松商業高校	59	任

② 県教委指定進路指導研究推進校の研究と実践

ア 泉崎村立泉崎中学校（校長 村越 亮）

- 指 定 昭和55年度～56年度
- 研究主題 生徒の発達に応じた進路指導
- 研究公開 昭和56年11月4日

イ いわき市立勿来第一中学校（校長 猪狩福秀）

- 指 定 昭和55年度～56年度
- 研究主題 生徒一人一人の能力を伸ばし、適性を見いだす進路指導
- 研究公開 昭和56年10月13日

6 特 別 活 動

(1) 昭和56年度指導の重点

特別活動のもつ教育的意義や価値を正しく認識し、学校の教育目標の達成を目指しながら、実態に即して特色のある教育活動がなされるよう工夫する。

特に児童生徒の自主的、実践的な集団活動を助長するよう「なすことによって学ぶ教育活動」を中心に指導の充実を図るため、次の事項を重点として設定した。

- ① 集団活動をより充実するため、実態に即した創意のある指導計画に改善する。
- ② 児童生徒による自主的、実践的な活動がより充実するよう、指導法の改善に努める。
- ③ 各内容ごとに指導の重点をあげ、その充実を図る。

(2) 主な研修及び行事

① 県小学校教育研究会特別活動部会

ア 主 催

県教育委員会、県小学校教育研究会
開催市町村教育委員会

イ 研究主題

所属する集団の一員としての役割を自覚させ、自発的、自治的な実践活動を育てる指導助言はどうかあればよいか。

ウ 県研究協議会

- 期 日 昭和56年9月30日～10月1日
- 会 場 福島市立松川小学校

② 県中学校教育研究会特別活動部会

ア 主 催

県教育委員会、県中学校教育研究会

開催市町村教育委員会

イ 研究主題

望ましい集団活動を通して自主性・自発性を育てる特別活動の指導はどうあるべきか。
——教育課程の編成にともなう特別活動全体計画の工夫と改善——

ウ 県研究協議会

- 期 日 昭和56年10月8日
- 会 場 保原町立保原中学校

7 幼 稚 園 教 育

本年度は幼稚園教育の拡充、振興施策の推進と市町村教育委員会の努力により、公立幼稚園229園、五歳児の就園率が74.7%（全国平均64.4%）に達した。

しかし、幼稚園未設置町村並びに幼稚園の不足する町村の解消、教育内容の充実など、今後とも努力しなければならない問題が残されている。

本年度は市町村教育委員会並びに福島県公立幼稚園教育研究会、私立幼稚園協会等の協力を得て次の事業を実施した。

(1) 幼稚園教育課程研究集会

① 目 的

公立幼稚園における教育課程の編成及び実施、指導上の諸問題について研究協議し、教職員の指導力を高め、幼稚園教育の充実振興を図る。

② 主 催

福島県教育委員会
福島県公立幼稚園教育研究会

③ 会 場

県北、県中、県南、相双、いわき、会津の六地区

④ 期 日

昭和56年10月13日～11月10日のうち1日

⑤ 研究主題

幼児がいきいきと活動し、一人一人が自己充実するには幼児の発達の姿をどうとらえ、どのように指導したらよいか。

⑥ 参加者 875名（6地区合計）

(2) 幼稚園教育課程研究発表大会

① 目 的

昭和56年度幼稚園教育課程都道府県研究集会の研究成果を発表交換し、幼稚園の教育課程の実施に伴う指導計画の作成及び指導上の諸問題を全国的規模において研究協議し、幼稚園教育の振興充実を図る。

② 主 催 文部省

③ 期 日 昭和57年2月1日～3日

④ 会 場

総 会 イイノホール
分科会 オリンピック記念青少年総合センター

⑤ 参加者 9名

(3) 幼稚園教育実技講習会

① 目 的

幼稚園教育要領の中から「絵画製作」領域について実技に関する研修を行い、その指導力を高め、幼稚園